

科目区分	専門教育科目	科目名	保育実習指導Ⅲ		科目コード	21Y740	担当者	織田 芳人、本村 弥寿子、中村 浩美、荒木 正平、福井 謙一郎、南條 恵、船勢 肇、山中 慶子、高橋 秀樹			
対象学生	幼児教育学科 2年生		学期区分	通年	単位数	1	担当形態	オムニバス			
		授業形態	演習								
科目			施行規則に定める科目区分又は事項等			卒業要件	選択				
						免許・資格要件	保育士選択必修				
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
保育実習Ⅰでの課題をもとに、児童福祉施設（保育所以外）における個別支援計画の作成と実践の方法を学習する。さらに、実習の総括と自己評価をおこなうことで保育実践力を培い、保育士の仕事内容や職業倫理について理解を深める。						1. 「良心」 誠実な人柄と 人間力		2. 「創造」 高度な知性と 創造力		3. 「実践」 明確な意思と 実践力	
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 表現力・創造断力	⑤ 実行力・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	子どもの観察や関わりの視点を持つことができる。					◎	◎	◎	○	◎	○
2.	保育技術を高めることができる。										
3.	保育士としての自己課題を明確にできる。										
4.											
5.											
授業方法						成績評価の方法と割合					
施設担当教員を中心として、学科教員がオムニバスで授業をおこなう。講義やグループ学習、実技、講演など授業内容に応じた形態となる。						受講態度（40%） 提出物（30%） 発表内容（30%）					
課題等への対応						授業外学修時間					
実習後に全体指導（実習報告会）や個別の事後指導をおこなう。						授業前後に1時間					
回数	授業計画					学習課題（予習・復習）					
第1回	オリエンテーション					保育実習への意識を高める。					
第2回	保育技術実践（絵本・紙芝居）					絵本・紙芝居についての予習と復習					
第3回	保育技術実践（運動遊び）					運動遊びについての予習と復習					
第4回	施設での生活について（Ⅰ）					施設で生活する子どもの実情と課題を考える。					
第5回	施設での生活について（Ⅱ）					第4回をもとにレポートにまとめる。					
第6回	保育技術実践（保健・衛生）					乳幼児の保健・衛生についての予習と復習					
第7回	卒業生講演会					施設保育士の役割と使命についての予習と復習					
第8回	保育実習オリエンテーション					進路を考え実習先を検討する。					
第9回	保育所長講演会					施設保育士としての自覚を高める。					
第10回	実習先事前訪問					事前訪問で気づいたことをまとめる。					
第11回	実習先事前訪問					第10回の学習課題をもとに重点課題を見直す。					
第12回	実習前個別オリエンテーション					実習中の課題を明確にする。					
第13回	実習事後指導					実習の成果と課題をまとめる。					
第14回	意見交換会					施設実習を検証し、その成果と課題を1学年に伝える					
第15回	実習報告会					施設保育士としての役割と使命をレポートにまとめる。					
試験	定期試験を実施しない										
教科書	「教育・保育実習の手引」 「実習記録ハンドブック」				受講生への メッセージ	保育実習指導Ⅰ（施設）で学んだことに併せて、施設で生活する子どもや利用者一人ひとりに応じた支援の内容や方法についての事前学習が必要です。施設の実情や子ども・利用者の実態を理解してしっかりと実習課題に反映してください。					
参考書等	なし										